

2. 現況および課題の把握

ウ 道路・交通施設

a. 道路

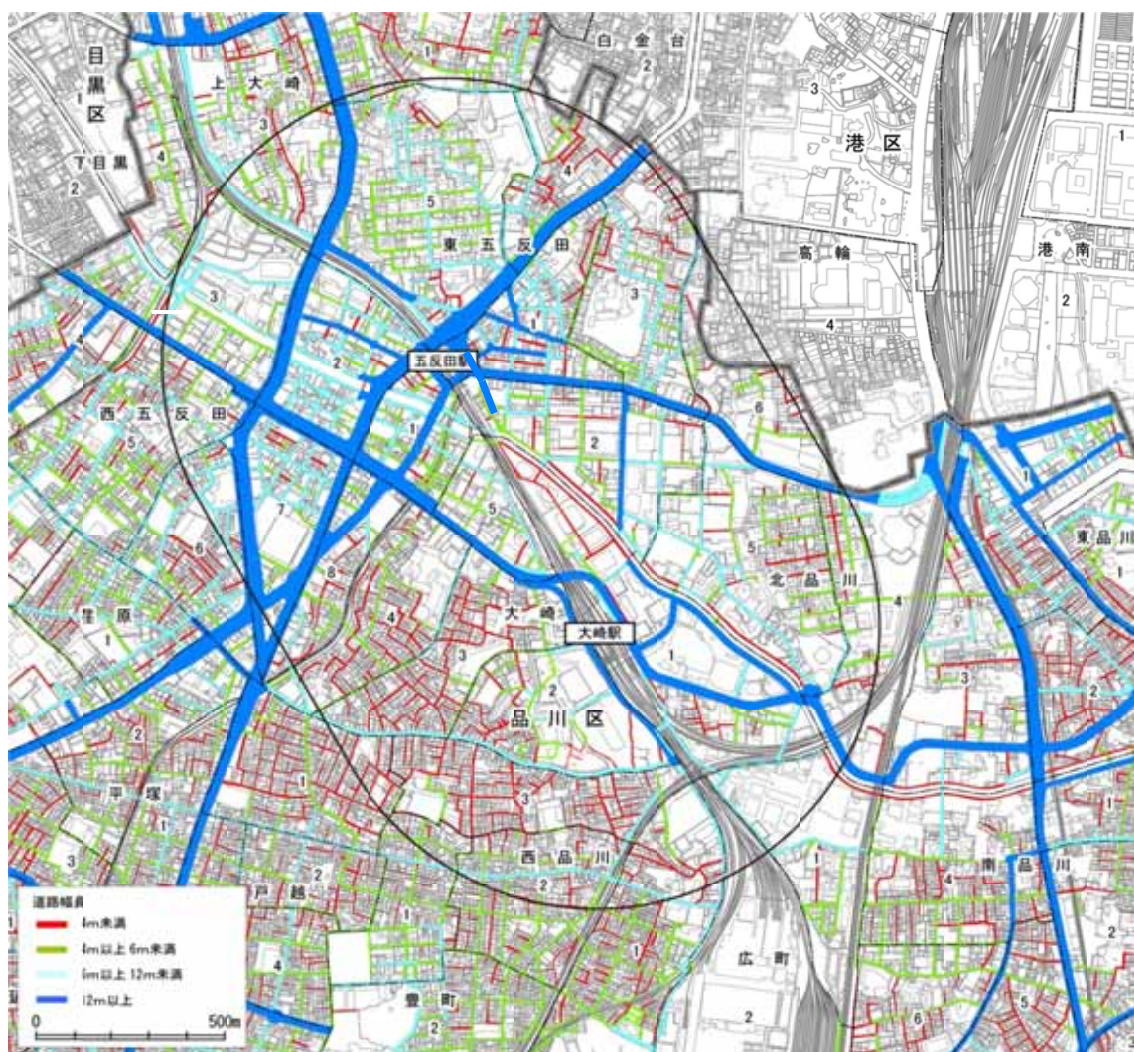
【道路幅員】

広幅員で交通量の多い駅周辺では車・歩行者の混雑、駅から少し離れた住宅地は細街路や建物倒壊等による道路閉塞により、避難所への避難支障が課題として想定される。

- ・地区内残留地区に指定されている五反田駅周辺と大崎駅東側のエリアは、広幅員の主要幹線道路が通り、地区内は碁盤の目状に道路が整備されている。
- ・東五反田2丁目、大崎1、2丁目、北品川5丁目などにおいては、近年大規模開発に合わせた道路整備が進められている。
- ・大崎駅の南西側のエリアでは幅員4m未満の細街路が多くみられる。

滞留者の多い駅周辺では、渋滞による道路閉塞が生じ、駅出入口やデッキ付近、緊急輸送道路の横断歩道等が避難の際のボトルネックとなる可能性がある。

図表 36 現在の道路幅員の状況^{1, 23}



【橋りょう】

品川区では、車道橋と人道橋（歩道橋含む）を合わせて、70橋の橋りょうを管理している。区で管理する橋りょうは、落橋防止装置等の設置による耐震化がおおむね完了している²⁴。

図表 37 品川区管理の橋りょう（大崎駅周辺地域）²⁵

橋名	箇所		種類	
	路線名	位置		
亀の甲橋	目黒川	西五反田3丁目6 西五反田3丁目11	特別区道橋	鋼橋
市場橋	目黒川	西五反田3丁目6 西五反田3丁目11	特別区道橋	鋼橋
ふれあいK字橋	目黒川	西五反田1丁目10 西五反田1丁目13	特別区道橋	鋼橋
山本橋	目黒川	東五反田2丁目14 大崎1丁目1	特別区道橋	鋼橋
御成橋	目黒川	東五反田2丁目15 大崎1丁目2	特別区道橋	鋼橋
鈴懸歩道橋	目黒川	東五反田2丁目15 大崎1丁目5	特別区道橋	鋼橋
三嶽橋	目黒川	北品川4丁目11 広町1丁目2	特別区道橋	鋼橋
要津歩道橋	目黒川	北品川3丁目11 南品川4丁目1	特別区道橋	鋼橋
要津橋	目黒川	北品川3丁目11 南品川4丁目1	特別区道橋	鋼橋
〇歩道橋	都道	大崎1丁目6 大崎1丁目21	特別区道橋	鋼橋
小関橋	目黒川	大崎1丁目10 北品川5丁目6	特別区道橋	鋼橋
北品川橋	旧目黒川	北品川1丁目23 東品川1丁目7	特別区道橋	鋼橋
谷山橋	東京急行池上線 跨線橋	西五反田8丁目6 大崎4丁目12	特別区道橋	鋼橋
新桐ヶ谷橋	東京急行池上線 跨線橋	平塚2丁目3 平塚1丁目3	特別区道橋	R C 橋
本村橋	目黒川	西五反田2丁目20 西五反田2丁目22	特別区道橋	P C 橋
荏川橋	目黒川	北品川2丁目30 南品川1丁目2	特別区道橋	P C 橋
太鼓橋	東京急行池上線 跨線橋	平塚1丁目9 平塚2丁目20	特別区道橋	P C 橋
京陽橋	東京急行池上線 跨線橋	平塚1丁目10 平塚3丁目10	特別区道橋	P C 橋
二中橋	東京急行池上線 跨線橋	平塚1丁目16 平塚3丁目11	特別区道橋	P C 橋
御殿山橋	J R 東海道新幹線 東海道線・山手線横 須賀線・京浜東北線	北品川4丁目7 北品川3丁目5	特別区道橋	鋼・R C・P C 混合橋
森永橋	目黒川	北品川5丁目8 大崎1丁目11	特別区道橋	鋼橋
東八ツ山歩道橋	区道	北品川1丁目6 北品川1丁目14	特別区道橋	横断歩道橋

(次頁に続く)

2. 現況および課題の把握

(前頁の続き)

橋名	箇所		種類	
	路線名	位置		
八ツ山歩道橋	区道	北品川 1 丁目 5 北品川 1 丁目 7	特別区道橋	横断歩道橋
台場歩道橋	区道	北品川 1 丁目 3 0 東品川 1 丁目 2 9	特別区道橋	横断歩道橋
夢棧橋	J R 山手線 りんかい線 都道・区道	大崎 1 丁目 1 1 大崎 2 丁目 1	特別区道橋	鋼橋
百反歩道橋	J R 山手・貨物線 りんかい線	大崎 1 丁目 2 1 西品川 3 丁目 2 1	特別区道橋	鋼橋
大崎駅取り付け デッキ	区道	大崎 1 丁目 4	特別区道橋	鋼橋

図表 38 東京国道事務所品川出張所管理橋りょう（大崎駅周辺地域）²⁶

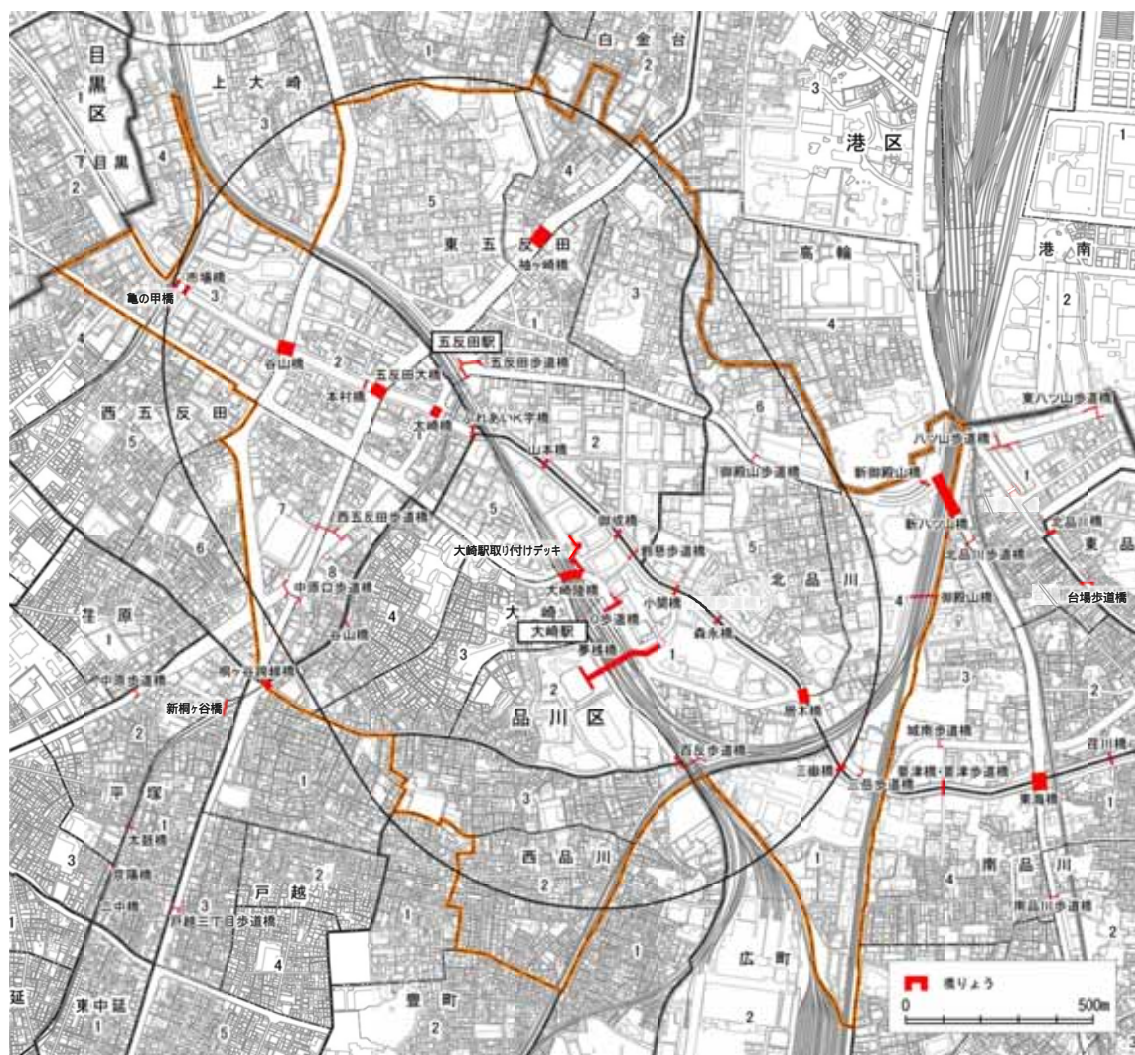
橋名	箇所		種類
	路線名	位置	
五反田大橋	国道1号	西五反田 1 丁目 3	橋
桐ヶ谷跨線橋	国道1号	西五反田 8 丁目 9	橋
御殿山橋	国道15号	北品川 4 丁目	橋
新八ツ山橋	国道15号	北品川 4 丁目	橋
東海橋	国道15号	北品川 2 丁目 3 4	橋
袖ヶ崎橋	国道1号	東五反田 1 丁目 2 - 3 3	橋
西五反田歩道橋	国道1号	西五反田 8 丁目 8	横断歩道橋
中原口歩道橋	国道1号	西五反田 8 丁目 1 0	横断歩道橋
戸越三丁目歩道橋	国道1号	戸越 3 丁目 5	横断歩道橋
北品川歩道橋	国道15号	北品川 3 丁目 3	横断歩道橋
南品川歩道橋	国道15号	南品川 4 丁目 1 9	横断歩道橋

図表 39 東京都第二建設事務所管理橋りょう（大崎駅周辺地域）²⁷

橋名	箇所		種類
	路線名	位置	
居木橋	目黒川	北品川 4 丁目 大崎 1 丁目	鋼橋
大崎橋	目黒川	西五反田 1 丁目	鋼橋
大崎陸橋	J R 東日本・区道	大崎 1 丁目 大崎 5 丁目	鋼橋
新御殿山橋	都道	北品川 4 丁目	鋼橋
谷山橋	目黒川	西五反田 2 丁目 西五反田 3 丁目	P C 橋
五反田歩道橋	山手通り	東五反田 2 丁目 1 東五反田 1 丁目 2 6	横断歩道橋
御殿山歩道橋	山手通り	北品川 5 丁目 5 北品川 6 丁目 7	横断歩道橋
城南歩道橋	山手通り	北品川 3 丁目 1 0 北品川 3 丁目 9	横断歩道橋
中原歩道橋	中原街道	平塚 2 丁目 6 荏原 1 丁目 2 2	横断歩道橋
三岳歩道橋	山手通り	北品川 4 丁目 1 1	横断歩道橋

2. 現況および課題の把握

図表 40 大崎駅周辺地域の橋りょう位置図¹



【がけ地】

「急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律」（昭和44年7月1日法律第57号）では、傾斜度が30度以上ある土地を急傾斜地と定めている。このうち、高さが5m以上、想定被害地域内に5戸以上の人家が存在するなど、一定の要件を満たすものが急傾斜地崩壊危険箇所とされている。

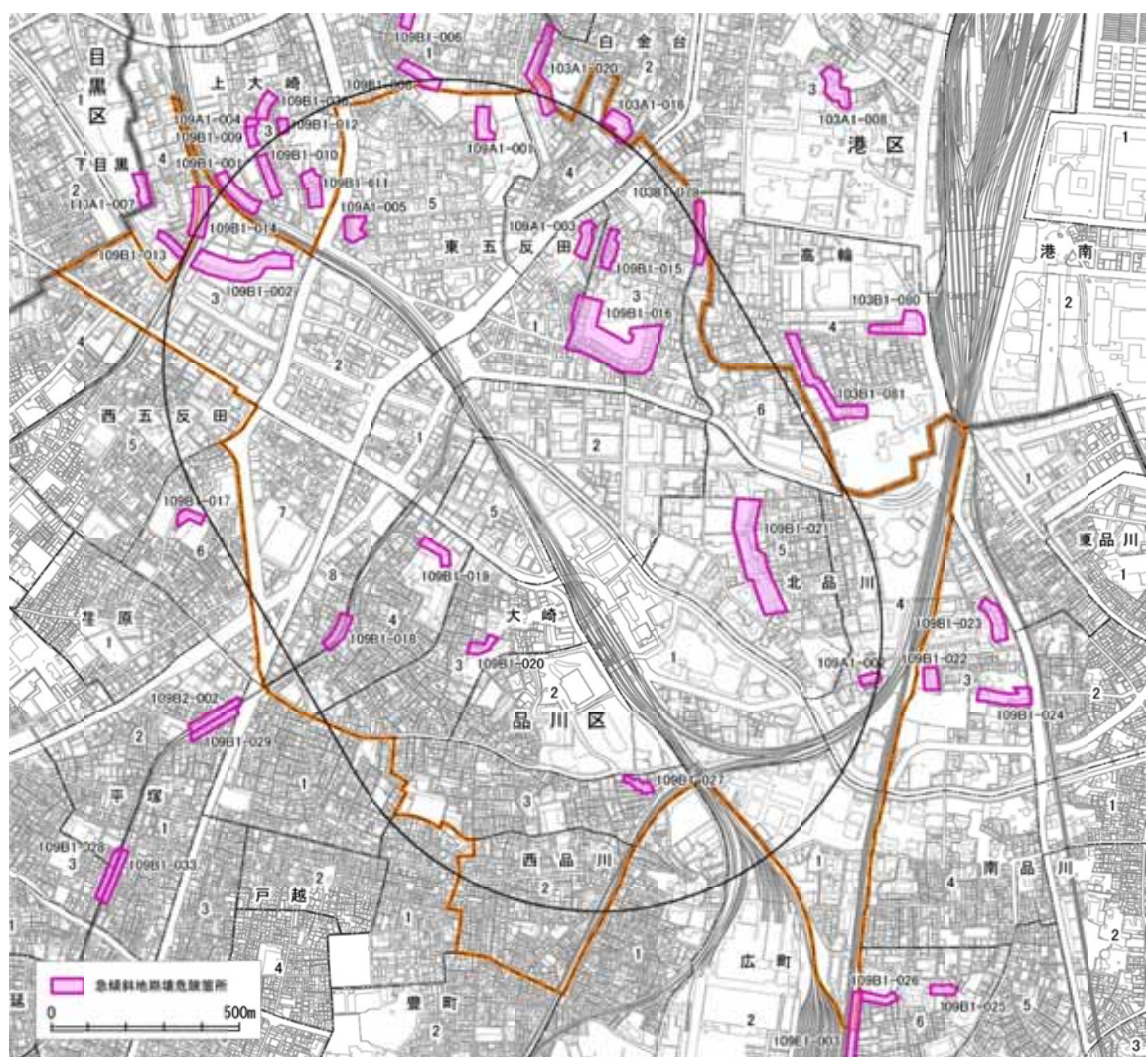
- ・大崎駅周辺地域の急傾斜地崩壊危険箇所は、以下のとおり20ヶ所が分布している。

図表 41 急傾斜地崩壊危険箇所一覧²⁸

箇所番号	所在地	備考
103A1-016	白金台2丁目27	
103A1-020	白金台2丁目20	
103B1-079	高輪4丁目1	
109A1-001	東五反田5丁目9	
109A1-002	北品川4丁目9	
109A1-003	東五反田	
109A1-005	東五反田5丁目20	
109B1-001	上大崎3丁目11	
109B1-002	西五反田3丁目3 - 6	
109B1-008	上大崎1丁目19	
109B1-010	上大崎3丁目12	
109B1-011	上大崎3丁目14	
109B1-014	上大崎4丁目6	
109B1-015	東五反田3丁目7	
109B1-016	東五反田3丁目16	清泉女子大学付近
109B1-018	西五反田8丁目10	
109B1-019	大崎4丁目2	立正大学付近
109B1-020	大崎3丁目12	芳水小学校付近
109B1-021	北品川5丁目9	
109B1-027	西品川3丁目20	

2. 現況および課題の把握

図表 42 急傾斜地崩壊危険箇所位置図^{1,29}



【線路横断等】

大崎駅周辺地域は、南北にＪＲ山手線等と目黒川が流れており、五反田駅は東西に桜田通り、大崎駅の南側にはＪＲ横須賀線・東海道新幹線の線路が横切っている。

大崎駅側は都市基盤整備が進んでいるため、道路やデッキ等で東西の行き来ができる箇所が複数あるが、五反田駅の南から大崎駅の北側までは約400m、大崎駅の南側は約300m東西横断ができない。ＪＲ線を挟み、東西の市街地それぞれは、五反田駅～大崎間で連続しており、東五反田２丁目など、両駅からのアクセスが良い都市開発エリアも存在する。

以上より、避難シミュレーション等を行う際に考慮すべき線路横断等の状況について、以下のとおり整理する。

■大崎駅南側

- ・大崎駅南西側の市街地は、道路幅員が狭い木造密集市街地となっており、地域危険度が高い。そのため、東海道新幹線等を挟んで、西品川２丁目の住宅地から西品川１丁目の再開発広場（事業実施中）への避難が考えられる。現在事業実施中の再開発事業により、東海道新幹線等の高架下改善（地下道改善、高架下道歩専道等）が行われている。

■五反田駅周辺

- ・ＪＲ線および東急池上線は高架となっており、地上での行き来が可能だが、横断歩道は少なく、東口駅前広場付近は歩道橋が整備されている。
- ・駅の北側、地下に地下鉄浅草線が通る桜田通りは、中央分離帯のある広幅員道路となっており、横断可能箇所（横断歩道）は少ない。

■五反田駅北側

- ・五反田駅北側、西五反田２丁目、西五反田３丁目付近は、ＪＲ線が盛土になっており、都道418号・首都高速２号目黒線との交差点以外、東西市街地の行き来ができない。

2. 現況および課題の把握

b. 交通施設

【鉄道】

大崎駅は、J R 東日本の山手線、埼京線、湘南新宿ライン、東京臨海高速鉄道りんかい線の4路線が乗り入れるターミナル駅である。1日の平均乗車人員（平成22年度）は、約18万人（乗り換え含む）であり、乗降客数は約40万人弱となる。

五反田駅は、J R 東日本の山手線、東京急行電鉄池上線、都営地下鉄浅草線の3路線が乗り入れるターミナル駅である。1日の平均乗降人員（平成22年度）は、約21万人（乗り換え含む）であり、乗降客数は約40万人強となる。

図表 43 区内の主要駅における1日あたり平均乗車人員（平成22年度）³⁰

J R 東日本			京浜急行電鉄		
	- 目黒駅	102,310人		- 青物横丁駅	22,363人
	- 五反田駅	129,154人		- 立会川駅	8,705人
	- 大崎駅	126,436人	東京モノレール		
	- 大井町駅	94,715人		- 天王洲アイル駅	14,337人
	- 西大井駅	14,501人		- 大井競馬場前駅	4,365人
東京急行電鉄			東京都交通局		
目黒線	- 目黒駅	115,482人	浅草線	- 中延駅	13,079人
	- 武蔵小山駅	23,434人		- 五反田駅	30,067人
池上線	- 五反田駅	50,172人	東京臨海高速鉄道		
	- 旗の台駅	29,424人	りんかい線	- 天王洲アイル駅	16,035人
大井町線	- 大井町駅	62,761人		- 品川シーサイド駅	21,576人
	- 旗の台駅	31,787人		- 大井町駅	33,495人
				- 大崎駅	50,653人

なお、大崎駅については、駅周辺の開発の進行により、年々駅利用者が増加している。J R 線の乗車人員（1日平均）は平成22年度の126,436人から平成26年度の145,672人、りんかい線の乗車人員（1日平均）は平成22年度の50,653人から平成26年度の60,467人に増加している。

滞留者等の推計においては、この利用者の増加を加味して算出を行った。

【バス】

大崎駅周辺のバス乗り場は、駅東口の山手通りと西口バスターミナルの2ヶ所があり、乗り場は全部で6ヶ所となっている。系統は東急バスの1系統の他、西口バスターミナルからは長距離高速バスが発着している。行き先は、路線バスは大井町駅と渋谷駅、高速バスは大阪、名古屋、新潟、仙台方面への路線が運行している。西口バスターミナルは平成27年12月にオープンし、今後多くの都市と大崎駅を結ぶ高速路線の乗り入れが推進されることとなっている。

大崎駅の乗り場と発着のバス路線は以下のとおりである。

図表 44 大崎駅周辺のバス停留所³¹図表 45 大崎駅周辺発着のバス路線³²

のりば	系統	行先（主な経由地）・備考	バス会社
山1	渋41	大井町駅（新馬場駅前・青物横丁・仙台坂・大井町駅東口）	東急バス
山2	渋41	渋谷駅（大崎広小路・不動前駅入口・中目黒駅・大橋）	東急バス
	渋41	清水（大崎広小路・大鳥神社前）	東急バス
西口0	渋41	渋谷駅（大崎広小路・不動前駅入口・中目黒駅・大橋）	東急バス
西口1	高速バス	大阪・堺（京都）、新潟（長岡）、名古屋（豊橋）、仙台（福島）、金沢（富山）、長野、秋田、羽田空港、成田空港	各運行会社
西口2			
西口3			

※のりば番号の「山」は山手通り、「西口」は西口バスターミナルを指す。

2. 現況および課題の把握

五反田駅周辺のバス乗り場は、西口駅前広場、東口駅前広場の2ヶ所であり、乗り場は全部で5ヶ所となっている。系統は6系統で、都営バス、東急バスの2社が運行を行っている。

五反田駅の乗り場と発着のバス路線は以下のとおりである。

図表 46 五反田駅周辺のバス停留所 ³²



図表 47 五反田駅周辺発着のバス路線 ³²

のりば	系統	行先（主な経由地）・備考	バス会社
東口4	反01	川崎駅西口北（中延駅前・馬込駅前・西馬込駅前・池上警察署・多摩川大橋） ※荏原営業所行あり	東急バス
	反02	池上警察署（中延駅前・馬込駅前・西馬込駅前・本門寺裏） ※平日のみ深夜バスあり	東急バス
東口5	反94	赤羽橋駅前（高輪台駅前・明治学院前・古川橋・麻布十番駅前） ※朝・夕方のみ	都営バス
東口6	反96	六本木ヒルズ（品川駅前・古川橋・麻布十番駅前・六本木ヒルズ・六本木駅前） ※御殿山行あり	都営バス
西口7	渋72	渋谷駅東口（目黒不動尊・元競馬場前・茶屋坂・恵比寿駅） ※不動尊前止あり。毎月28日は目黒不動尊の縁日開催に伴い、曜日に係わらず【縁日ダイヤ】で運転	東急バス
西口8	反11	世田谷区民会館（武蔵小山・学芸大学駅・野沢交番前・若林三丁目）	東急バス
	反11	弦巻営業所（武蔵小山・学芸大学駅・野沢交番前） ※1日2本のみ	東急バス

※のりば番号の「東口」は東口駅前広場、「西口」は西口駅前広場を指す。

c. まとめ

大崎駅周辺地域における道路や交通施設の特性は、以下のとおりである。

【道路】

- ・ 駅周辺部は鉄道や広幅員の幹線道路、目黒川等が市街地の分断要素となっているが、目黒川を渡る橋りょうや、大崎駅の東西をつなぐ自由通路やデッキの整備が進んでいる。五反田駅周辺は、駅前の広幅員道路を渡る横断歩道の位置が限られており、歩道橋の幅員も狭い。
- ・ 滞留者の多い駅周辺では、渋滞による道路閉塞が生じ、駅出入口やデッキ付近、緊急輸送道路の横断歩道等が避難の際のボトルネックとなる可能性がある。
- ・ 駅から離れたエリアでは、鉄道を横断できる箇所は限られるとともに、大崎駅の南西側のエリアでは、幅員4m未満の道路が多く見られる。また、大学や学校付近に急傾斜地崩壊危険箇所が見られ、避難路の設定の際には注意が必要と考えられる。

【交通施設】

- ・ 大崎駅はJ R 3線とりんかい線、五反田駅はJ R 線、東急線、都営地下鉄の3線が発着するターミナル駅であり、1日の乗車人員は両駅とも約20万人前後と多くの人々が利用することから、帰宅困難者等の推計の際には鉄道利用者についても考慮することが必要と考えられる。

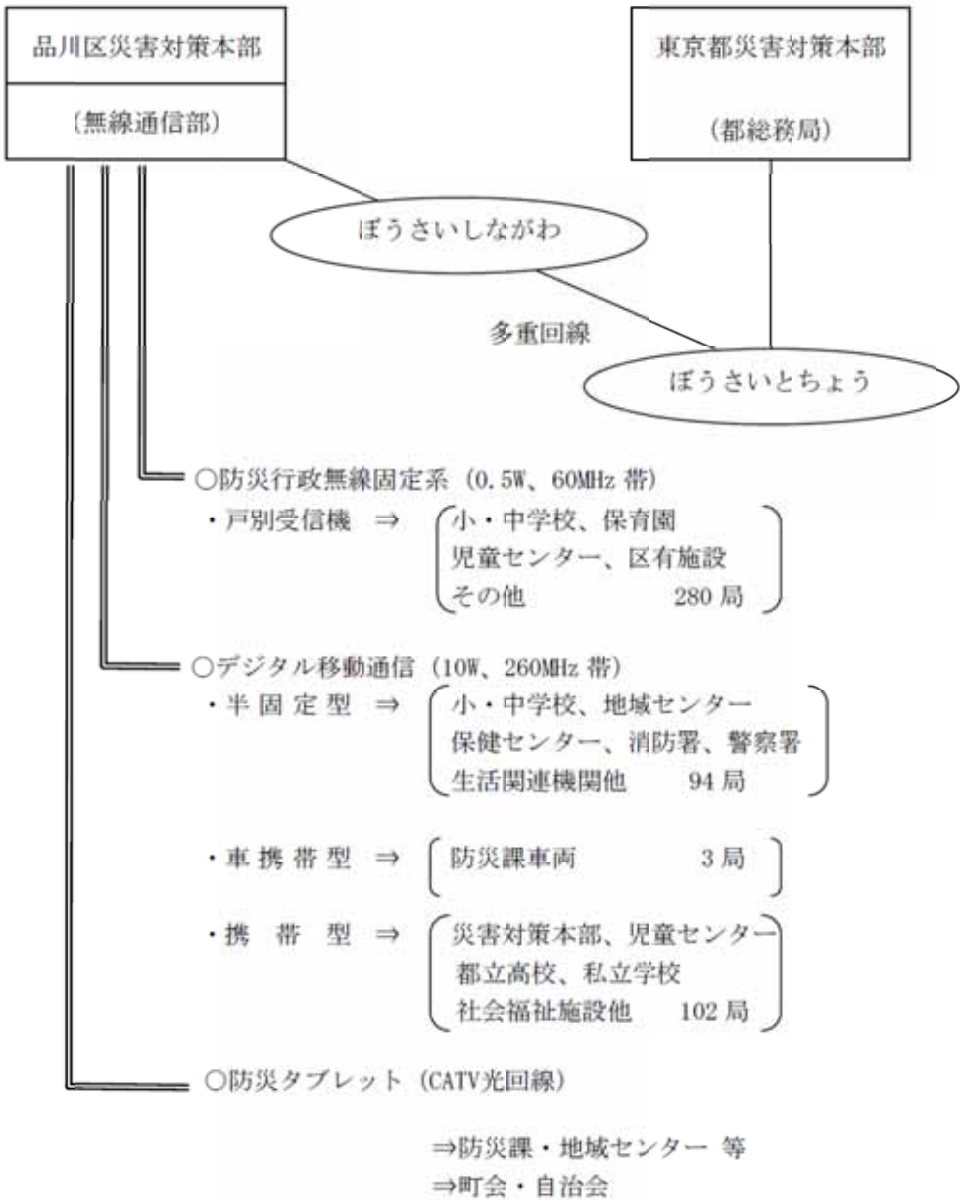
2. 現況および課題の把握

エ 防災関連設備・施設等

a. 防災行政無線

品川区では、平成19年度よりデジタル移動通信を導入している。防災関連機関や生活関連機関との通信手段として、災害時に避難所となる児童センターや私立学校等に機器を配備している。無線通信系統図は、以下のとおりである。

図表 48 無線通信系統図³³



b. 給水拠点

給水拠点は、以下のとおりである。

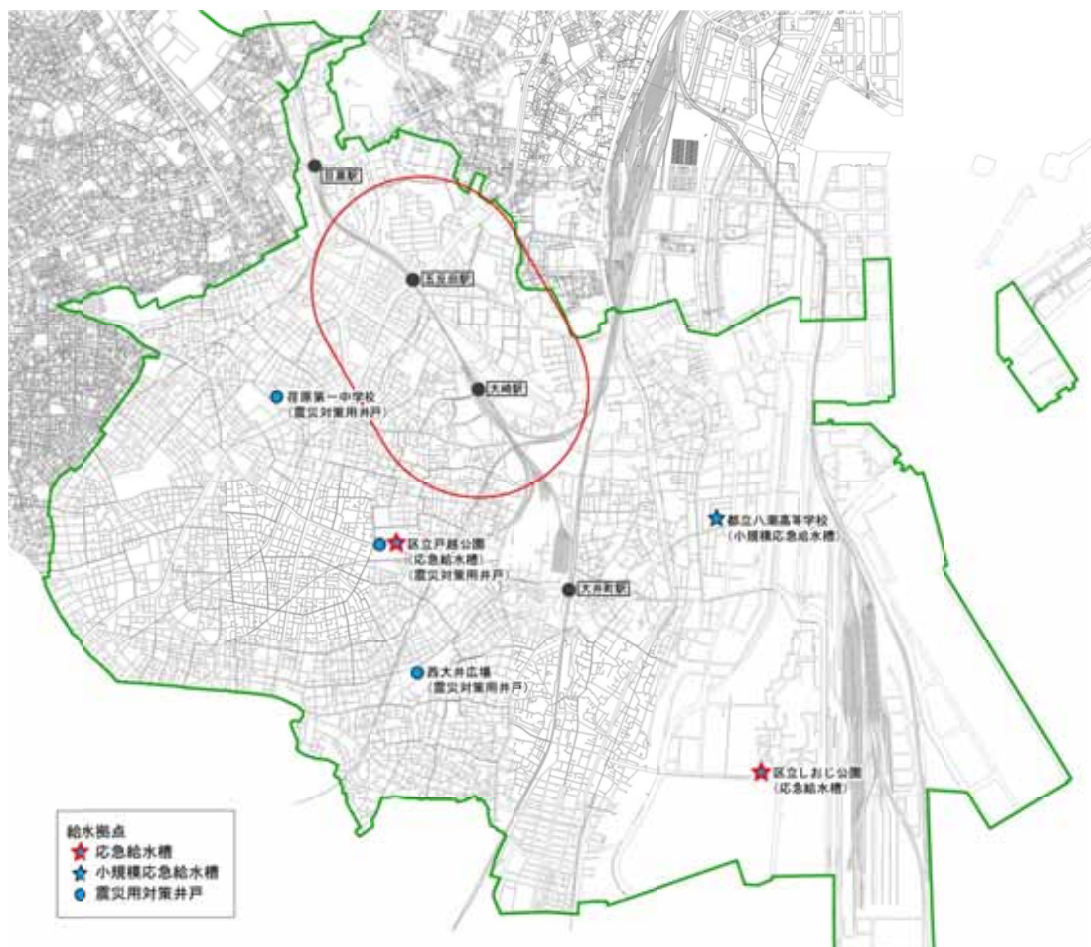
図表 49 給水拠点となる施設一覧³⁴

施設名	住所	使用可能水量
区立戸越公園（応急給水槽）	豊町2丁目1 - 30	1,500 m ³
区立しおじ公園（応急給水槽）	八潮5丁目6	1,500 m ³
都立八潮高等学校（小規模応急給水槽）	東品川3丁目27 - 22	100 m ³

また、震災対策用井戸の設置状況は、以下のとおりである。

図表 50 震災対策用井戸³⁵

設置場所	住所	日量
西大井広場	西大井1丁目4 - 10	約300m ³
戸越公園	豊町2丁目1 - 30	約170m ³
荏原第一中学校	荏原1丁目24 - 30	約100m ³

図表 51 給水拠点、震災対策用井戸位置図¹

2. 現況および課題の把握

c. 災害時の交通規制・緊急輸送道路

【第一次交通規制】

道路交通法に基づき警視庁が実施し、人命救助、消火活動等に従事する緊急自動車等の円滑な通行を確保するための交通規制である。

- ・環状七号線から都心方向への車両は通行禁止となる。（環状七号線は迂回路として通行することが可能）
- ・環状八号線から都心方向への車両の通行は抑制される。
- ・下記の7路線が「緊急自動車専用路」となり、緊急自動車等以外の一般車両の通行が禁止される。

図表 52 第一次交通規制道路一覧³⁶

国 道	4号（日光街道ほか）	17号（中山道・白山通りほか）
	20号（甲州街道ほか）	246号（青山通り・玉川通り）
都 道	目白通り	外堀通り
高速道路	高速自動車国道・首都高速道路	

※ 高速自動車道と首都高速道路を合わせて1路線とする。

※ 被災状況によって、上記以外の路線を指定することがある。

図表 53 第一次交通規制（大震災発生直後から）³⁶



凡 例			
環状7号線	■ ■ ■ ■ ■	環状8号線	● ● ● ● ●
緊急自動車専用路	—	国道4号・国道17号・国道20号・ 国道246号・目白通り・外堀通り	
	—	高速自動車国道・首都高速道路	

【第二次交通規制】

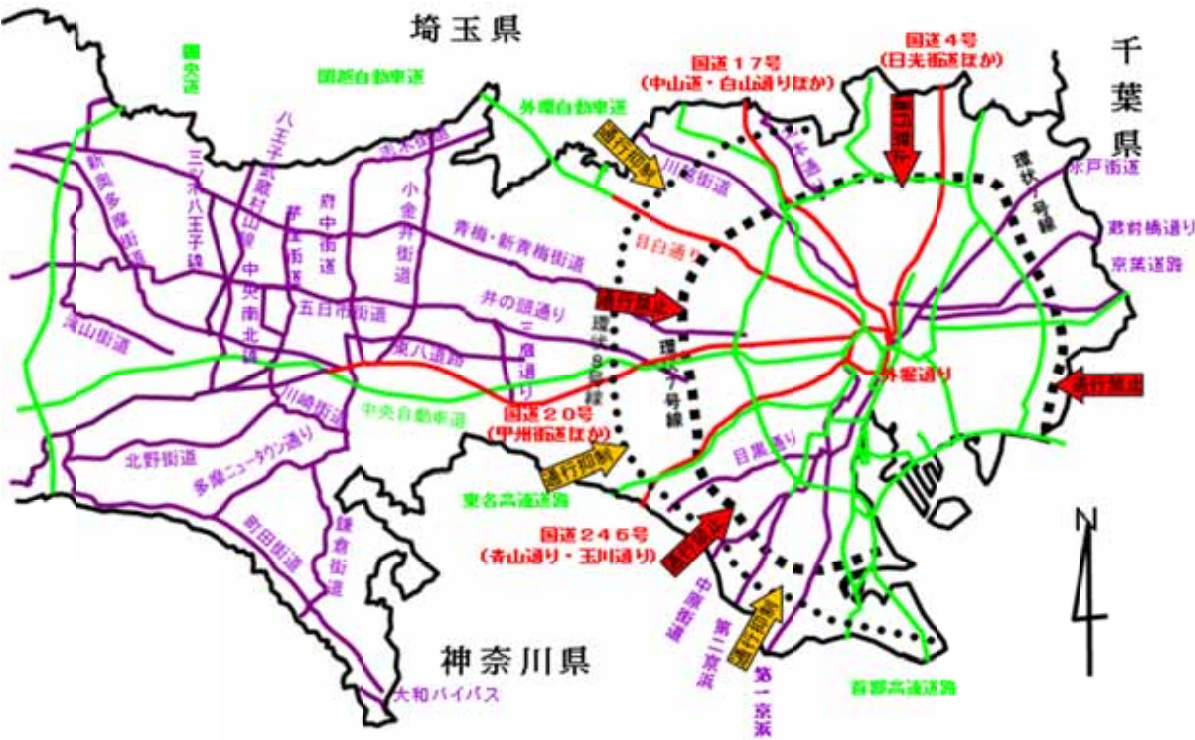
災害対策基本法に基づき警視庁が実施する交通規制で、災害応急対策に従事する緊急通行車両等の円滑な通行を確保するための交通規制である。

- ・ 下記の31路線のうち、被害状況、道路交通状況、災害応急対策の進捗状況等を勘案し、必要な路線を「緊急交通路」に指定する。
- ・ 品川区における緊急交通路は、第一京浜、第二京浜、中原街道、目黒通りの4路線となる。

図表 54 緊急交通路一覧

第一京浜	第二京浜	中原街道	目黒通り
青梅・新青梅街道	川越街道	北本通り	水戸街道
蔵前橋通り	京葉道路	井の頭通り	三鷹通り
東八道路	小金井街道	志木街道	府中街道
芋窪街道	五日市街道	中央南北線	八王子武蔵村山線
三ツ木八王子線	新奥多摩街道	小作北通り	吉野街道
滝山街道	北野街道	川崎街道	多摩ニュータウン通り
鎌倉街道	町田街道	大和ハイパス	

図表 55 第二次交通規制（被害状況および道路状況を勘案した上で実施）³⁶

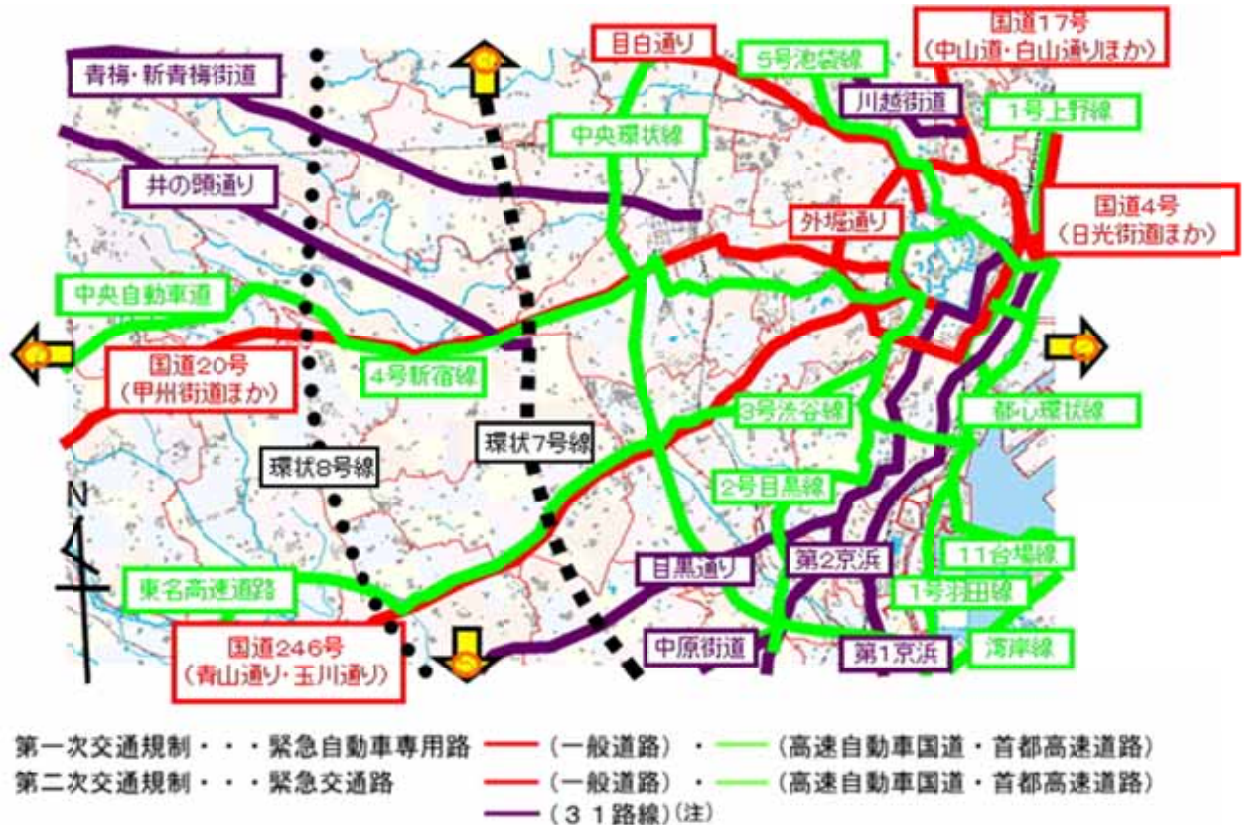


凡	例
環状7号線	環状8号線
緊急交通路	優先して指定する路線 (国道4号・国道17号・国道20号・ 国道246号・目黒通り・外堀通り)
	優先して指定する路線 (高速自動車国道・首都高速道路)
	被害状況により指定する路線

2. 現況および課題の把握

大崎駅周辺地域における緊急自動車専用路および緊急交通路は、首都高速2号目黒線、第二京浜の2路線となっている。

図表 56 緊急自動車専用路・緊急交通路 詳細図³⁶



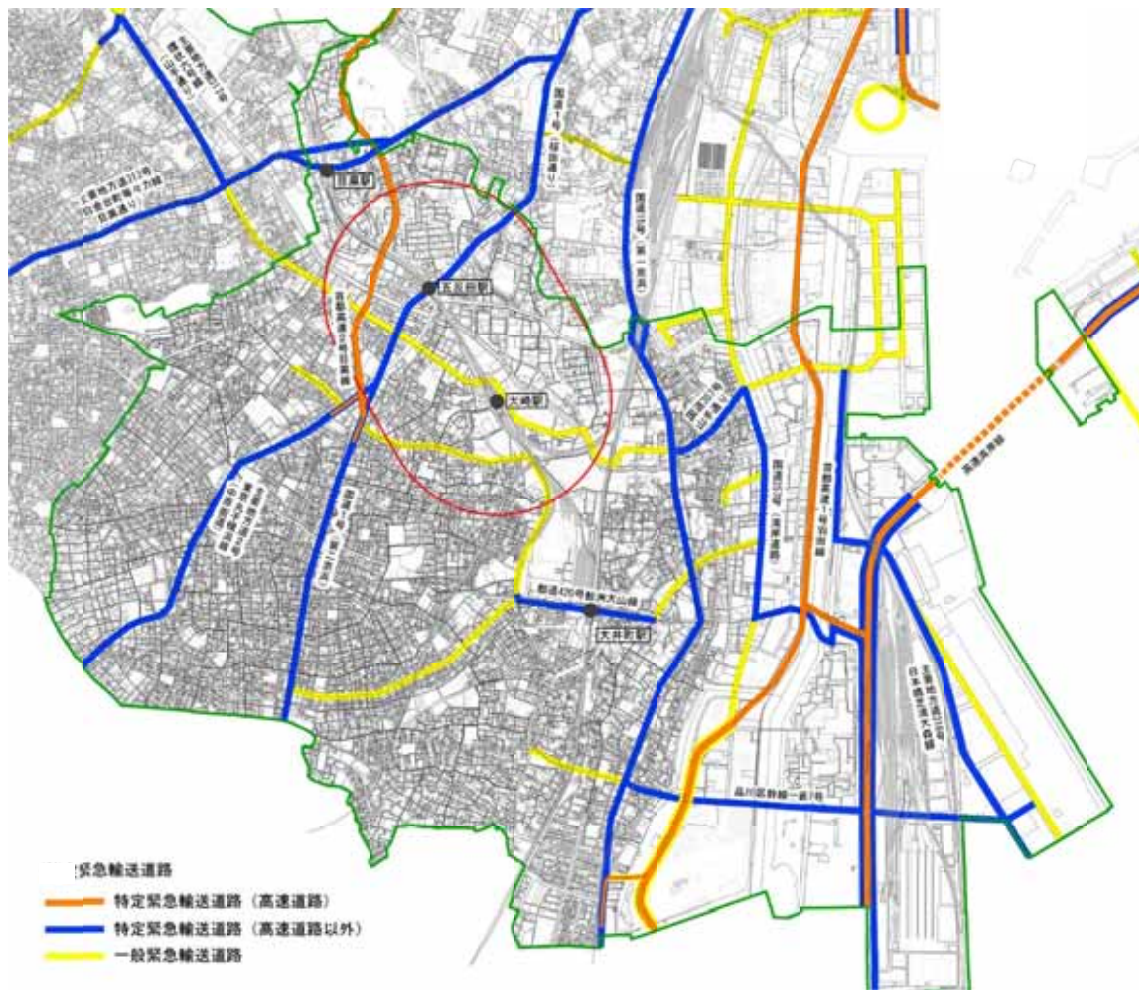
【緊急輸送道路】

緊急輸送道路とは、発災直後から発生する緊急輸送を円滑に行うため、高速自動車国道、一般国道およびこれらを連絡する幹線道路と知事が指定する防災拠点を相互に連絡する道路をいう。

大崎駅周辺地域における緊急輸送道路は、以下のとおりである。

- ・ 緊急輸送道路：主要地方道317号線、補助163号線
- ・ 特定緊急輸送道路：国道1号、中原街道
- ・ 大崎駅周辺地域では、五反田駅前を横断する国道1号（桜田通り、第二京浜）が特定緊急輸送道路、大崎駅前を横断する都道317号線（山手通り）と大崎駅南側の百反通りが緊急輸送道路に指定されている。
- ・ 緊急輸送道路は災害時に横断が制限されるため避難路設定にあたって注意が必要である。

図表 57 緊急輸送道路^{1, 37}



2. 現況および課題の把握

d. 広域避難場所

【広域避難場所】

広域避難場所は、震災時に発生する延焼火災から身の安全を確保するために一時的に避難する場所で、東京都震災対策条例に基づき、東京都が指定する。広域避難場所はおおむね5年ごとに見直されており、およそ5ha以上の空地や耐火建物群、河川敷、グラウンド、学校、公園や緑地などのオープンスペース、また輻射熱の影響が少ない安全な所まで後退できる奥行きがある場所などを要件に選定されている³⁸。

品川区は10ヶ所が指定されている。このうち、大崎駅周辺地域の広域避難場所は、高輪三丁目・四丁目・御殿山地区、自然教育園・聖心女子学院一帯、J Rアパート・品川区役所一帯、大井ふ頭一帯、戸越公園一帯、天王洲アイル周辺、大崎駅西口地区一帯である。

図表 58 大崎駅周辺地域の広域避難場所³⁹

避難場所名称 (所在地)	区域面積 / 避難有効面積	地区割り当て		避難計 画人口	一人当り 避難有効 面積	最遠 距離
		区町丁	町丁数			
高輪三丁目・四丁目・御殿山地区 (港区高輪、品川区北品川)	235,437㎡ / 110,924㎡	港区高輪1～4丁目、白金台2丁目 品川区北品川5～6丁目、4丁目の一部、東五反田1、3丁目の各一部	10	62,298 人	1.78 ㎡/人	1.4km
自然教育園・聖心女子学院一帯 (港区白金、白金台、品川区上大崎)	365,905㎡ / 182,103㎡	港区白金1～6丁目、白金台1、3～5丁目 品川区荏原1丁目の一部、上大崎1～4丁目、西五反田3、5、6丁目の各一部、東五反田4丁目、1、3、丁目の各一部	21	70,533 人	2.58 ㎡/人	1.9km
JRアパート・品川区役所一帯 (品川区広町)	84,171㎡ / 42,336㎡	品川区大井1～3丁目、戸越1丁目、3丁目の一部、西品川3丁目、1～2丁目の各一部、広町2丁目、二葉1丁目、2丁目の一部	11	40,205 人	1.05 ㎡/人	1.2km
大井ふ頭一帯 (品川区八潮、大田区城南島、東海)	5,140,642㎡ / 2,340,599㎡	品川区北品川2丁目の一部、広町1丁目、南品川1～3、5～6丁目、4丁目の一部	8	21,418 人	109.28 ㎡/人	1.9km
戸越公園一帯 (品川区豊町)	62,691㎡ / 18,492㎡	品川区戸越2、4丁目、3、5丁目の各一部、西品川1～2丁目の各一部、豊町1～3丁目	9	16,600 人	1.11 ㎡/人	0.5km
天王洲アイランド周辺 (品川区東品川)	227,484㎡ / 123,268㎡	品川区東品川1丁目、南品川4丁目の一部、北品川1、3丁目、2、4丁目の各一部	6	23,526 人	5.24 ㎡/人	1.2km
大崎駅西口地区一帯 (品川区大崎)	58,978㎡ / 26,302㎡	品川区大崎2～3丁目、4丁目の一部	3	16,283 人	1.62 ㎡/人	0.7km

2. 現況および課題の把握

【地区内残留地区】

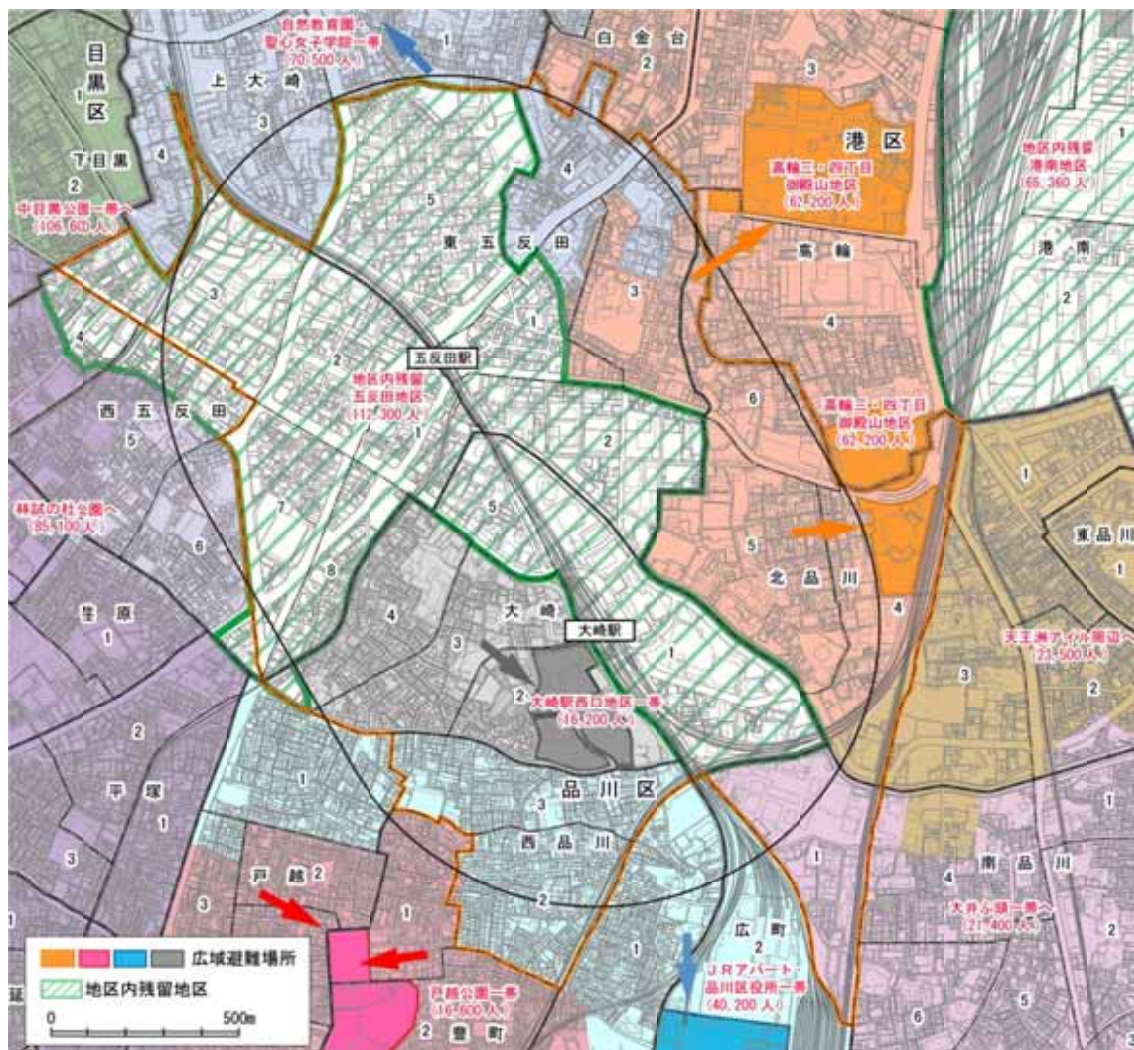
地区の不燃化が進んでおり、万が一火災が発生しても、地区内に大規模な延焼火災のおそれがなく、広域的な避難を要しない区域として、地区内残留地区が定められている。

品川区の地区内残留地区は、5地区が指定されている。大崎駅周辺地域では、五反田地区が定められている。

図表 59 大崎駅周辺地域の地区内残留地区⁴⁰

地区名	区名	所在地	面積	地区内退避人口
五反田地区	品川区	大崎1, 5丁目、4丁目の一部、西五反田1～2丁目、7～8丁目、3～6丁目の各一部、東五反田2, 5丁目、1丁目の一部	131ha	112,386人

図表 60 広域避難場所、地区内残留地区¹



- ・五反田駅周辺や大崎駅の東側は、地区内残留地区に指定されており、万一火災が発生した場合も広域的な避難を必要としない区域となっている。
- ・今回の対象区域の縁辺部にあたる広町1丁目や東五反田4丁目などは、指定されている広域避難場所までかなり距離がある状況である。
- ・大崎2～4丁目の広域避難場所には、大崎駅西口地区一帯が指定されており、周辺住宅地から駅の方へ避難者が集中することになるため、駅周辺の混乱回避や安全な避難に向けた対策が必要と考えられる。

e. 公園、広場等

【防災機能を有する公園、広場】

品川区では、震災時における地域の防災活動拠点として、平常時には防災訓練の場、区民の憩いの場、子どもの遊び場となる38ヶ所（平成28年4月1日現在）の防災活動広場の整備を行ってきた。

これら防災活動広場に加え、公園等にも可能な限り防災設備を設けている。

貯水槽や防災無線スピーカーが設置された、防災機能を有する公園は大崎駅周辺地域内に5ヶ所立地している。防災活動広場は立地していない。

図表 61 大崎駅周辺地域の公園、広場（40t以上の貯水槽を設置）⁴¹

広場名	所在地	面積	貯水槽	施設整備
西八丁公園	西五反田8丁目11-4	521.78㎡	100㎡	固定系無線屋外スピーカー
大崎五丁目遊園	大崎5丁目2-2	1,708㎡	100㎡	
大崎5丁目児童遊園	大崎5丁目8-5	97㎡	100㎡	
鎗ヶ崎公園	西品川3丁目12-2	360.58㎡	40㎡	
西品川おさんぽ公園	西品川3丁目9-24	606.81㎡	40㎡	

2. 現況および課題の把握

【その他公園】

特に防災機能は整備されていないものの、発災直後に避難が可能と考えられる公園は、以下のとおりである。

図表 62 その他公園⁴²

公園名	所在地	面積	備考
五反田南公園	東五反田 2 丁目 1 - 1 4	519㎡	目黒川沿いの低地にある公園で、幼児向け遊具と休養施設が置かれている。
五反田ふれあい 水辺広場	東五反田 2 丁目 9 - 1 1	3,441㎡	再開発事業により整備された親水広場型の児童遊園。
御成橋公園	東五反田 2 丁目 1 5 - 2 0	1,559㎡	目黒川に架かる御成橋の脇にある遊戯・休憩型の公園。
池田山公園	東五反田 5 丁目 4 - 3 5	7,022㎡	旧岡山池田藩下屋敷跡を整備した鑑賞型公園。高低差を生かした池泉回遊式。
ねむの木の庭	東五反田 5 丁目 1 9 - 5	580㎡	旧正田邸の跡地に整備した公園。
五反田児童遊園	東五反田 5 丁目 2 1 - 1 0	157㎡	首都高速道路2号線高架下の道路に面した小さな児童遊園。坂道に面しているため園内は二段に分かれている。
五反田公園	東五反田 5 丁目 2 4 - 6 東五反田 5 丁目 2 5 - 2 7	965㎡	一般的な遊具中心の公園で、坂道をはさんで二段に分かれている。
大崎橋広場	西五反田 1 丁目 1 0 - 2	751㎡	目黒川沿いにある細長い広場で歩道と一体的に整備されている。
谷山公園	西五反田 3 丁目 6 - 1 5	1,301㎡	西五反田三丁目地区計画に基づき整備された公園。民間開発で提供された公園と一体的に整備されている。
西五反田公園	西五反田 5 丁目 6 - 4	2,274㎡	氷川神社に隣接する公園で、高低差により児童向け遊戯、健康遊具、多目的広場の3ゾーンに分かれている。
大崎光の滝公園	大崎 1 丁目 1 - 2	1,001㎡	大崎駅東口第3地区の再開発事業により整備された公園。
大崎川の辺緑地	大崎 1 丁目 5 - 1	388㎡	民間のビル建設に伴い提供された細長い小緑地。
居木橋公園	大崎 1 丁目 1 4 - 4	1,400㎡	大崎駅東口第二地区再開発事業により提供された公園。

(次頁に続く)

2. 現況および課題の把握

(前頁の続き)

公園名	所在地	面積	備考
ひふみ公園	大崎2丁目2-11	691㎡	大崎駅西口地区の地区計画により整備された公園。
百反坂の上広場	大崎2丁目7-13	255㎡	百反坂の上の旧大崎第二地域センター跡地に整備した広場型の児童遊園。
大崎西口公園	大崎2丁目10-14	1,560㎡	開発行為により整備され、大崎駅のペデストリアンデッキに繋がる、ステージとして活用できる階段を有する公園。
峰原公園	大崎3丁目17-27	622㎡	峰原坂の上にある遊具主体の公園
大崎公園	大崎5丁目5-17	1,171㎡	防災行政無線固定系あり。 山手通りの近くにある公園。
広町公園	広町1丁目3-30	170㎡	広町一丁目工場アパート群の最奥部にある小公園。
三ツ木公園	西品川2丁目6-11	490㎡	三ツ木通り商店街の中にある公園。
三ツ木児童遊園	西品川2丁目9-18	180㎡	平和坂の途中にある遊戯型の児童遊園。
そよかぜ公園	西品川2丁目17-8	748㎡	区役所の北西に位置する遊戯型の公園。
百反坂下児童遊園	西品川3丁目20-22	201㎡	百反坂の途中から少し奥まったところにある小さな児童遊園。
小関公園	北品川5丁目8-21	1,134㎡	居木橋の北西にある公園。表通りから細い園路を通して入る園内は、多目的広場と遊戯ゾーンからなり、隣接する民間住宅内公園や目黒川緑道とつながっている。
小関橋公園	北品川5丁目7-18	1,087㎡	再開発事業により、大崎駅から再開発地区への玄関口として、地域や訪れる方へ緑の憩いの広場を整備されている。
御殿山の丘公園	北品川6丁目6-32	869㎡	開発行為によりソニー本社跡地に整備された広場型公園。

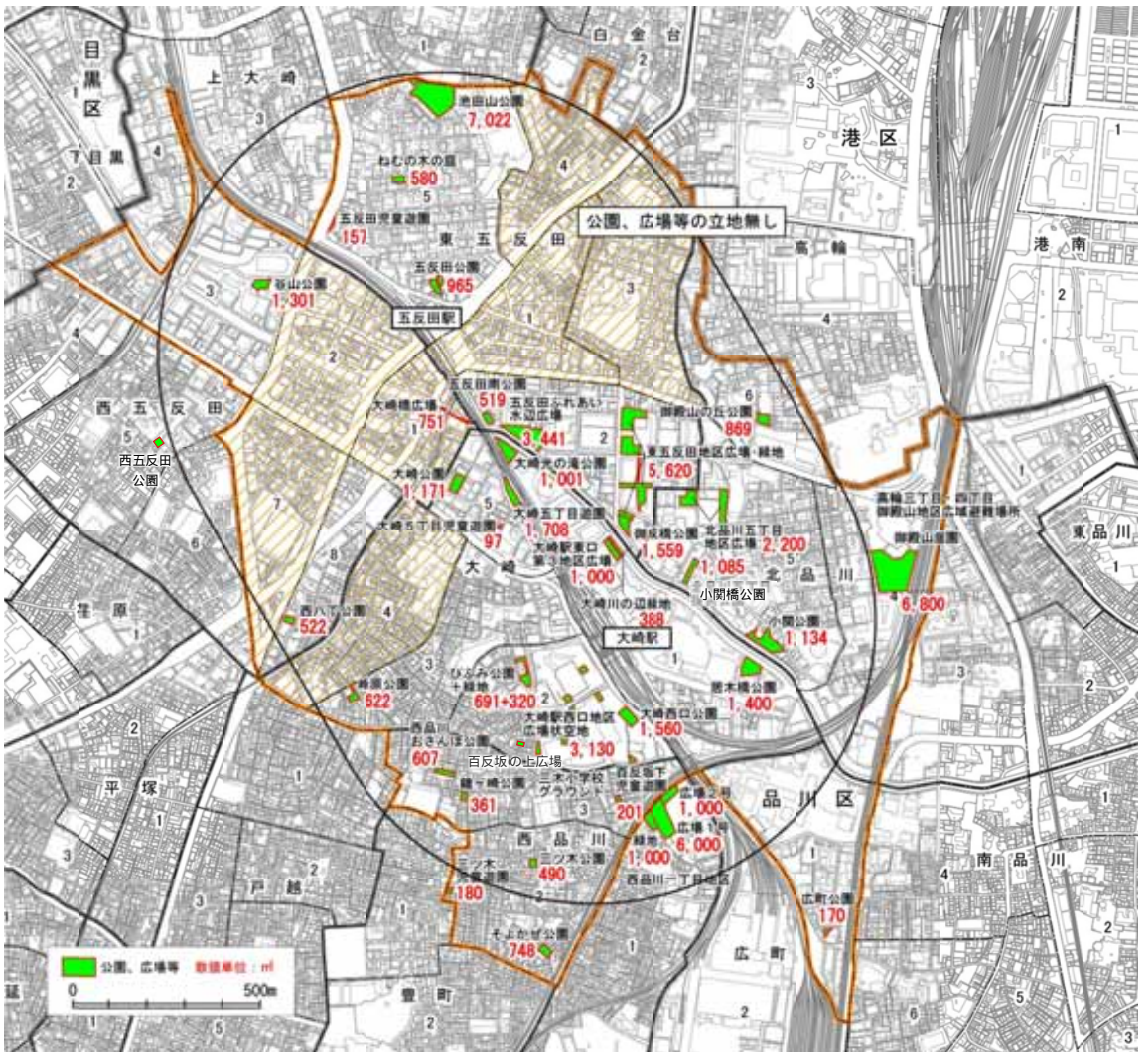
2. 現況および課題の把握

【その他広場】

発災直後に滞留者の滞留が可能と考えられる駅前広場やデッキ等の広場空間は、以下のとおりである。

図表 63 その他広場⁴³

施設名	所在地	種別	面積	備考
五反田駅東口駅前広場	東五反田 1 丁目 1		約2,500㎡	
五反田駅西口駅前広場			約1,000㎡	
東五反田二丁目地区地区計画	東五反田 1、2 丁目	親水広場	約3,400㎡	※五反田ふれあい水辺広場
東五反田地区地区計画 (東五反田二丁目第1地区市街地再開発事業)	東五反田 2 丁目 16、17	広場 1 号	約2,500㎡	緑地は御成橋公園と一体。
		広場 2 号	約1,000㎡	
		広場 3 号	約1,600㎡	
		緑地	約520㎡	
大崎駅東口第2地区地区計画	大崎 1 丁目	地区公園	約1,400㎡	※居木橋公園
大崎駅東口第3地区地区計画	大崎 1 丁目	緑地	約1,000㎡	※大崎光の滝公園
		広場	約1,000㎡	大崎センタービル
大崎駅西口地区地区計画 (ウエストシティビル、Think Park、NBF大崎ビル)	大崎 2 丁目	公園 1 号	約690㎡	※ひふみ公園
		緑地	約320㎡	ひふみ公園と一体。
		広場状空地 1 号	約550㎡	ウエストシティビル
		広場状空地 2 号	約500㎡	Think Park
		広場状空地 3 号	約540㎡	NBF大崎ビル (ソニー)
		広場状空地 4 号	約450㎡	Think Park
		広場状空地 5 号	約320㎡	ウエストシティビル
		広場状空地 6 号	約470㎡	NBF大崎ビル (ソニー)
		広場状空地 7 号	約300㎡	
大崎駅西口駅前広場	大崎 2 丁目		約1,000㎡	
大崎駅西口バスターミナル	大崎 2 丁目 10 - 10		約1,392㎡	有効面積は左記の約50%、700㎡とする。
北品川五丁目地区地区計画 (北品川五丁目第1地区第一種市街地再開発事業)	北品川 5 丁目 5、7	公園 1 号	約1,085㎡	2015年5月竣工
		広場 1 号	約1,100㎡	
		広場 2 号	約1,100㎡	
【対象地域外】 西品川一丁目地区地区計画 (西品川一丁目地区市街地再開発事業)	西品川 1 丁目 1、2	広場 1 号	約6,000㎡	施工中 2017年竣工予定
		広場 2 号	約1,000㎡	
		緑地	約1,000㎡	

図表 64 公園、広場等^{1, 44}

- ・東五反田 1、3、4 丁目、西五反田 1、2、7 丁目、大崎 4 丁目には公園が 1ヶ所も立地していないため、一時退避場所への適切な誘導が必要である。
- ・大崎駅周辺地域では大規模開発に伴い公園や広場が整備されており、今後も開発に合わせた整備を適切に行っていくことが必要である。

2. 現況および課題の把握

f. 避難所等

【避難所】

家屋の倒壊や焼失等により生活が困難となった場合に一時的に避難生活を送る場所である。

品川区地域防災計画では、想定避難所生活者数119,932人に対し、区全体の避難所の収容人員を120,000人と計画している⁴⁵。また、一般の避難者との避難生活を送ることが困難な寝たきりの高齢者や障害者等を保護するための施設として、二次避難所や福祉避難所を指定している。

なお、避難所は原則区民の利用を想定しており、帰宅困難者の利用は想定されていない。

図表 65 大崎駅周辺地域の避難所⁴⁶、二次避難所⁴⁷

避難所名	所在地	構造	収容人員	主な補完避難所
日野学園	東五反田2丁目11-1	鉄筋	3,407人	清泉女子大
芳水小学校	大崎3丁目12-22	鉄筋	987人	立正大学
大崎中学校	西品川3丁目10-6	鉄筋	965人	立正大学
三木小学校	西品川3丁目16-28	鉄筋	1,441人	立正大学
御殿山小学校	北品川5丁目2-6	鉄筋	671人	総合体育館
(二次) 五反田シルバーセンター	東五反田2丁目15-6	鉄筋	44人	—
(二次) 西五反田シルバーセンター	西五反田3丁目9-10	鉄筋	96人	—
(二次) 大崎シルバーセンター	大崎2丁目7-13	鉄骨	83人	—

【医療施設】

災害時における医療救護活動の拠点となる医療機関を災害拠点病院という。区内の災害拠点病院は、以下のとおりである。

大崎駅周辺地域では、東五反田5丁目のN T T東日本関東病院が、災害拠点病院に位置付けられている。品川区内の災害拠点病院は、以下のとおりである。

図表 66 災害拠点病院（平成24年4月1日現在）⁴⁸

位置づけ	施設名	所在地	病床数
災害拠点病院	昭和大学病院	旗の台1丁目5 - 8	853床
災害拠点病院	N T T東日本関東病院	東五反田5丁目9 - 2 2	665床

その他、大崎駅周辺地域に立地する医療機関で、東京都防災マップに記載されているものは、以下のとおりである。

図表 67 大崎駅周辺地域のその他医療機関⁴⁹

位置づけ	施設名	所在地	病床数
—	医療法人社団有仁会 阿部病院	品川区東五反田1丁目6 - 8	84床
—	大崎病院 東京ハートセンター	品川区北品川5丁目4 - 1 2	100床

各地域センター管轄区域内の避難所（区立小中学校）のうち1ヶ所を医療救護所として指定しており、大崎駅周辺地域では、大崎第二地区に立地する三木小学校が該当する。

図表 68 医療救護所一覧⁵⁰

管轄区域	施設名	所在地
品川第一地区	品川学園	品川区北品川3丁目9 - 3 0
品川第二地区	城南小学校	品川区南品川2丁目8 - 2 1
大崎第一地区	第一日野小学校	品川区西五反田6丁目5 - 3 2
大崎第二地区	三木小学校	品川区西品川3丁目1 6 - 2 8